

# NVR

障害の多様化等に対応する

職業探索システム等の開発に関する研究

— その1 —

1996年7月

日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

## まえがき

障害者職業総合センターは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、職業リハビリテーションに関する調査・研究、障害者の雇用に関する情報の収集・分析・提供、職業リハビリテーション施設の運営・指導、専門職員の養成・研修、障害者に対する職業リハビリテーションサービスの提供などの事業を行う総合的な施設として、労働省の認可法人である日本障害者雇用促進協会によって運営されています。

このため、当センターでは、職業リハビリテーションの各領域にわたる調査研究を広く実施するとともに、その成果を調査研究報告書その他の形で取りまとめ、関係者に提供しております。

本報告書は、このような当センターの調査研究活動の成果の一環として、「障害の多様化等に対応する職業探索システム等の開発に関する研究」の中間報告をまとめたものです。

職業リハビリテーションの現場では障害の多様化が指摘され、そのような事態への対応を図ることが緊要とされています。あわせて、職業の内容や障害者への就労支援方法についても著しい変化が起きています。このような背景の中で、障害者の職業カウンセリングを効果的に進めるために、近年大変身近になったパソコンの利点を活用して職業情報の検索や提示を行い、個人の職業探索に役立てる方法を検討することが必要であると考えられます。そのためには、職業情報の提供及びその利用ができるシステムを開発し、その利用方法を検討、提示することが必要となります。本研究はこのような問題意識で取り組んでいるのですが、本報告書では、開発の背景となる事項の整理、開発の方向づけ及び開発作業の着手段階までをまとめています。今後は、この方向づけを踏まえてシステム開発及び利用に関する研究を充実させていく予定にしております。

この研究が、わが国における職業リハビリテーションを前進させるための一助になれば幸いです。

1996年7月

日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター

**執筆担当者**

池田 勇 評価・相談研究担当統括研究員